

緑には様々な役割があります

緑は、私たちに恩恵をもたらす、私たちが生活をする上で必要なものです。こうしたことから、緑を守り育てる取組が大切になります。

良好な生活環境をつくる

緑は、二酸化炭素を吸収し、地球温暖化やヒートアイランド現象の緩和に役立ちます。
また、樹陰の提供や排気ガスの浄化に役立ちます。



自然とふれあう機会をつくる

公園や遊歩道などは、遊び場や健康づくりの場として利用されるほか、地域のコミュニティの形成に役立ちます。
また、森林や河川、農地などにおける自然とのふれあいは、私たちの気持ちを豊かなものにし、環境学習の機会を提供します。



自然災害を防ぐ

森林は、樹木がしっかりと根を張ることで、土砂の流出を防ぎ、大雨の際は少しずつ河川へ水を放出します。水田では、一時的に雨水を貯留し、洪水を抑制する働きがあります。

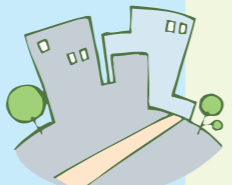
風の強い季節は、樹木が強風や飛んでくる砂を防いだり、海岸付近の防風林は、塩害を抑制します。



美しい都市景観をつくる

緑は、美しい自然景観や田園景観をつくり、私たちのふるさとを形成する重要な要素となり、気持ちのやすらぎや四季の移り変わりなどを感じさせてくれます。

また、公共施設や民有地の植栽、道路の街路樹などは、魅力的できれいな街並みをつくれます。



生き物の生息空間を守る

緑は、私たち人間を含め、多様な生き物を育てています。緑を守ることで、生態系の維持につながります。



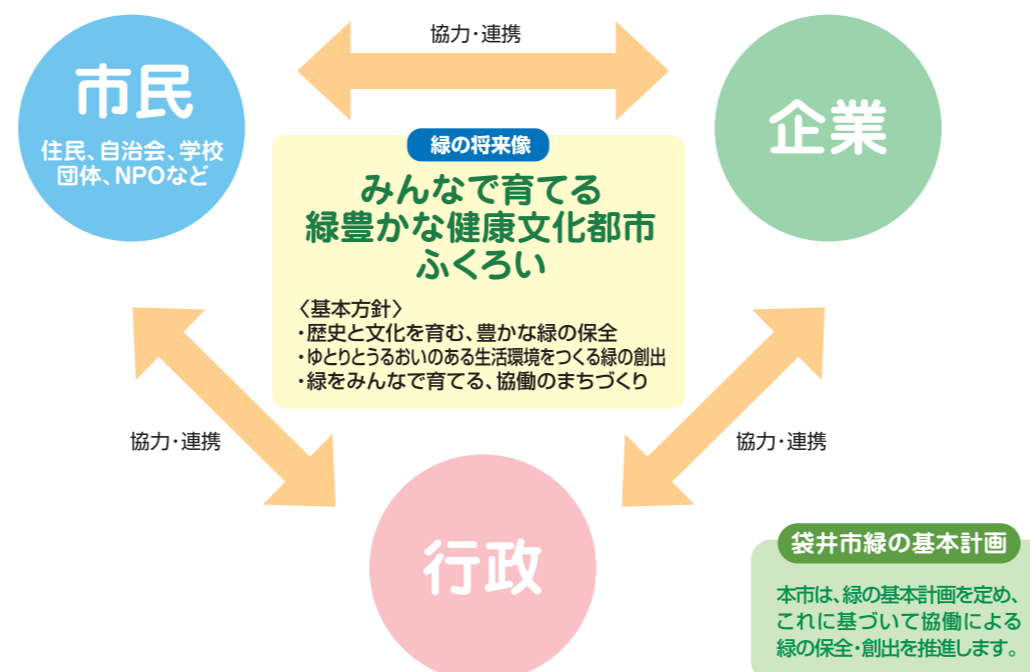
まちを守る

公園、広場や道路の街路樹は、災害時の避難地や支援活動の拠点になるほか、火災時の避難経路の確保や延焼防止に役立ちます。



緑をみんなで守り育てるために

緑を守り育てる取組は、家の生垣や庭の草木を育てるなど、身近にできることから始め、楽しみながら取り組むことが大切です。
市民・企業・行政が協力、連携しながら緑を守り育てることによって、取組の効果は、一層高まります。



みんなで緑を守り育てる取組の例

1人ひとりの小さな取組が、大きな緑に成長します。



家庭による生垣や庭づくり



団体・企業・行政の連携による花壇づくり



団体による里山づくり



公共施設施設の屋上緑化



企業による緑地の設置



学校と団体による里浜づくり

「みんなで育てる 緑豊かな健康文化都市 ふくろい」を目指して



市の鳥 フクロウ



市の木 キンモクセイ



市の花 コスモス

袋井市には、小笠山丘陵地などの森林や茶畑、伸びやかに広がる田園、太田川や原野谷川などの河川敷、御前崎遠州灘県立自然公園に指定されている浅羽海岸、さらには寺社や史跡、市街地の生け垣や花壇など、様々な「緑」があります。

「緑」は、人間をはじめ様々な生物の生存基盤として、私たちにやすらぎをもたらすと同時に、魅力ある街並みや、うるおいのある生活環境の形成、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の低減、自然災害の発生防止に寄与するなど、様々な役割が期待されています。

このように、緑は、私たちが暮らしていく上で、欠くことのできない大切な資源です。

四季の彩り豊かに袋井らしさを演出するこれらの緑を、市民・企業・行政が、互いに力をあわせて、大切に守り育てていくことで、「みんなで育てる 緑豊かな健康文化都市 ふくろい」を実現しましょう。



袋井市長 原田英之

市では、緑を守り育てる取組を推進しています。
あなたも、市の制度を活用してみたいはいかがでしょうか。



袋井市都市建設部都市計画課

〒437-8666 袋井市新屋一丁目1番地の1
 電話 0538-44-3122 FAX 0538-44-3145